



平成25年9月25日

## 日韓共同大学院薬学教育・研究システムの開設

概要： 本学薬学部は、韓国において薬学研究および教育をリードしている成均館大学の薬学部と連携し、日韓の薬学教育システムの特長を相互に理解した上で、両大学教員の連携指導による博士学位取得を目指すコースの開設を目指し、大学院の教育システムの格段の進化を相互に図ってゆくことになりました。この度（9月9日～11日）、本学薬学部の黒崎勇二先端薬学教育開発センター長ほか4名の薬学部教員と5名の学部学生が韓国・水原市の成均館大学薬学部を訪問しました。本学森山芳則薬学部長と成均館大学 K. H. Chung 薬学長が、両大学間の持続的な研究協力体制の構築に向けて、合同シンポジウムの開催と両大学学生への体験的な交流プログラムの提供を実施し、さらに上記のコースを質の高い国際的大学院教育プログラムとして開設を目指すことで合意しました。

### <事業紹介>

岡山大学薬学部は、「日韓の薬学教育システム比較に基づく双方向的な学生教育支援」事業として、韓国のトップクラスの大学である成均館大学薬学部と連携し、日韓ともに変革期にある薬学教育システムの特長を相互に理解した上で、積極的に教育システムや研究プロジェクトについて情報交換し、国際的な共同研究をリードする人材の育成に向け、相互に大学院教育を含めた教育システムの格段の進化を図ってゆくことになりました。

この度（9月9日～11日実施）森山芳則薬学部長、黒崎勇二先端薬学教育開発センター長ほか3名の薬学部教員が成均館大薬学部を訪問し、K. H. Chung 成均館大薬学長との間で、両大学間の研究協力に向けた定期的な合同シンポジウムの開催（第1回は12月に岡山大学で開催）と両大学の学生の体験的な教育プログラムへの参加に加え、質の高い国際的大学院教育プログラムの開設を目指すことで合意しました。この度の訪問では、学部学生の体験的な教育プログラムとして成均館大学での英語による授業聴講を併せて実施し、岡山大学生5名を派遣しました。12月には、学生の研究成果の合同発表会として岡山大学で開催する卒業研究発表会に成均館大学から学生が参加することになりました。

### <期待される成果>

岡山大学薬学部は、優れた6年制薬学教育システムの経験と情報を有しますが、海外のトップクラスの薬系大学である成均館大学薬学部と積極的に情報交換することで教育システムの格段の進化が期待されます。この度、基本合意した両大学が目指す国際的大学院教育プログラムの開設により、本学薬学部が目指す日本という枠を越えた次世代医療人リーダーの育成のための質の高い国際的大学院教育プログラムの構築が期待されます。



## PRESS RELEASE

<補足>

成均館大学薬学部：

薬学研究領域において韓国のトップクラスの実績を有する薬学部であり、薬学領域で韓国政府が進める Brain Korea 21 PLUS (Programs for Leading Universities & Students) 事業が採択された2校のひとつ。岡山大学薬学部とは2003年から交流があり、成均館大学と本学は Campus Asia 事業でも連携しています。

日韓の薬学教育システム：

医療での実践能力および問題解決能力に対する教育期待が高まる中で、日本では平成18年度から6年制薬学教育システムが導入されました。韓国においては、2011年から6年制薬学教育システムが導入され、新制度の1期生は現在5年生です。韓国においても大学院教育システムを再構築する時期にあります。

※ 本事業は、平成25年度岡山大学「大学機能強化戦略経費」（教育改革支援）で実施されます。

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授

(氏名) 黒崎勇二

(電話番号) 086-251-7978

(FAX番号) 086-251-7926